



1月12日『長岡京花菜部会 目合わせ会 開催』



目合わせの様子



平成28年1月12日、JA京都中央乙訓支店で、長岡京花菜部会「目合わせ会」が行われました。

花菜は、伏見桃山で切り花用として栽培されていた冬咲きなたねの蕾を食用にしたのが始まりとされています。

同部会は、平成2年にブランド産地の認証を受け出荷を行っており、毎年出荷最盛期となるブランド出荷開始前に、目合わせ会を行っています。

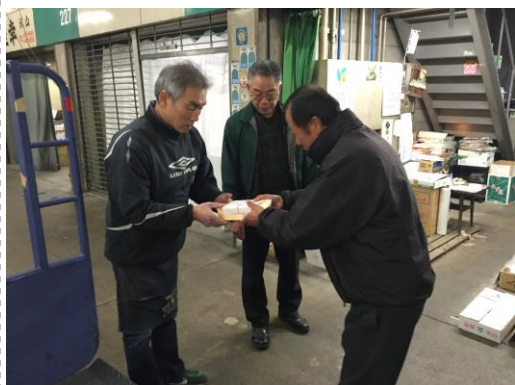
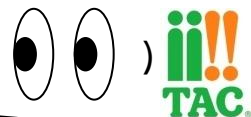
今年は、同部会の女性会員で構成される「花華の会」の会員も参加し、全農京都府本部・公益社団法人京のふるさと産品協会・JA京都中央会・市場・京都乙訓農業改良普及センター・行政等合わせて約30名が出席しました。

生産者個々に出荷調整した花菜を持ち寄り、規格の確認・詰め方などの技術の情報交換が熱心に行われました。

ブランド出荷は、1月13日より開始され、4月上旬ごろまでを予定しています。

—TAC information—

『長岡京花菜部会 現地検討会 開催』



1月14日(木)長岡京花菜部会は、ブランド出荷の開始に伴い「現地検討会」を行いました。

京都青果合同株式会社と京都中央卸売市場の仲卸業者を訪問し、今年度の産地状況や出荷についての打合せを行いました。